

令和6年度 認定介護福祉士養成研修 I類前期4科目 開催要綱

1 目的

認定介護福祉士は、介護福祉士の資格取得後も継続的な教育機会を提供し、資質の向上を図り、社会的な要請に応えていくことを目的につくられた、介護福祉士のための仕組みです。

認定介護福祉士は、住居・施設系サービスを問わず多様な利用者・生活環境、サービス提供形態等に対応して、より質の高い介護実践や介護サービスマネジメント、介護と医療の連携強化、地域包括ケア等に対応するための考え方や知識、技術等を認定介護福祉士養成研修で習得します。利用者、職場、他専門職、地域などに幅広く「かかわる」「支援する」使命を担える介護福祉士を養成するため「一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構」認証事業として開催します。

2 実施主体：一般社団法人愛知県介護福祉士会

3 会場：同朋大学または桜華会館（名古屋市中区三の丸一丁目7番地2号）

4 受講対象者：介護福祉士資格取得後5年勤務に従事した経験を有し、ファーストステップ研修修了者、または現任研修100時間以上の受講歴（ただし、レポート課題有）がある者 注1



5 定員：30人（受講者決定には、過去の研修履歴を優先させることがあります。）

6 受講料：1科目ごと支払いの場合 下記の図参照 会員と非会員で受講料が違います（入会申込で会員扱い可能） 4科目一括支払い受講料の場合 令和4年度I類前期 4科目 80,000円（非会員160,000円）6単位（10日間）

※一括支払い特典：毎回、上記の受講料を年度一括支払いの場合、3,000円分の研修クーポンをプレゼント

※令和7年度・8年度の開講予定科目、料金表は、後日ご案内します。

【令和6年度：I類前期（4科目） 科目別 受講料】 テキスト代・teams使用料別

科目（講義日数）	4日間	会員・賛助会員	非会員
7月28日（日）	1 生活支援のための運動学（1日）	9,000円	18,000円
9月1日（日）、9月29日（日）	2 生活支援のためのリハビリテーションの知識（2日）※1、2合わせて2単位	18,000円	36,000円
10月20日（日）、11月9日（土）、11月24日（日）	3 自立に向けた生活をするための支援の実践（3日）2単位	27,000円	54,000円
12月7日（土）、12月21日（土） 1月26日（日）、2月9日（日）	4 福祉用具と住環境（4日）2単位	36,000円	72,000円

※上記の表は、1科目ごとの支払いの場合、会員1日9,000円。非会員は、会員の2倍の費用。

正会員として入会しての受講がお得です！！

8 受講申込：別紙申込書に記入の上、FAX（052-802-8280）にてお送り下さい。その際、申込書に不備がないように、よろしく申し上げます。teamsの登録に関する連絡の為、メールアドレスの登録が必要です。

9 申込締切：令和6年6月30日（日） ただし定員になり次第締め切りさせていただきます。

お問合せ ★メールにて受付ます。下記メールアドレスまたは、QRコードよりお問合せください。

一般社団法人愛知県介護福祉士会 事務局

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目7番2号 桜華会館 南館

TEL (052) 202-8260 Fax(052)202-8280 Mail aichikaigo123@gmail.com



認定介護福祉士養成研修 全体像 主催：愛知県介護福祉士会

愛知県介護福祉士会では、令和5年度1月20日より本研修を開講し、4年間でI類とII類の全科目修了を目指します。

表1 認定介護福祉士養成研修 I類カリキュラム
領域・科目・時間数 (計:345 時間)

履修科目 領域	科目	時間数
認定介護福祉士養成研修導入	認定介護福祉士概論	15
医療に関する領域	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ	30
	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ	30
リハビリテーションに関する領域	生活支援のための運動学	10
	生活支援のためのリハビリテーションの知識	20
	自立に向けた生活をするための支援の実践	30
福祉用具と住環境に関する領域	福祉用具と住環境	30
認知症に関する領域	認知症のある人への生活支援・連携	30
心理・社会的支援の領域	心理的支援の知識技術	30
	地域生活の継続と家族支援	30
生活支援・介護過程に関する領域	認定介護福祉士としての介護実践の視点	30
	個別介護計画作成と記録の演習	30
	自職場事例を用いた演習	30

表2 認定介護福祉士養成研修 II類カリキュラム
領域・科目・時間数(計:255 時間)

履修科目 領域	科目	時間数
医療に関する領域	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ	30
心理・社会的支援の領域	地域に対するプログラムの企画	30
マネジメントに関する領域	介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	15
	チームマネジメント	30
	介護業務の標準化と質の管理	30
	法令理解と組織運営	15
自立に向けた介護実践の指導領域	介護分野の人材育成と学習支援	15
	応用的生活支援の展開と指導	60
	地域における介護実践の展開	30

表1、表2のカリキュラムについて、詳細は、
右記のQRコードを使用し、カリキュラム内容、受講料など
ご確認よろしくお願ひ致します。



認定介護福祉士・認証機構 愛知県介護福祉士会

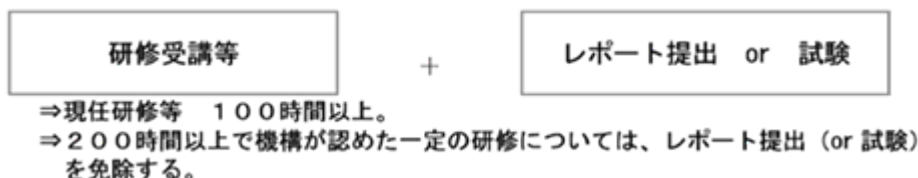
※ I類・II類の全科目について、レポート又は試験があります。不合格の場合、追試費用が必要となります。

○認定介護福祉士は、I類(345時間)とII類(255時間)、合計600時間の研修を全て修了する必要があります。

<認定介護福祉士養成研修 I類の受講要件>

- ① 介護福祉士としての実務経験(5年以上)ただし、科目によっては実務経験を問わない場合がある。
- ② 現任研修受講による内省や学習習慣の獲得。実務と現任研修への受講経験を つうじて、的確な判断や対人理解に基づいた尊厳を支える。ケアについて、常に考え内省する習慣、学習する習慣を獲得している。

研修受講歴とレポートの提出によって研修実施機関が確認する(基本は、ファーストステップ研修修了者)。注1



- ③介護職の小チーム(ユニット等、5~10名の介護職によるサービス提供チーム)のリーダー(ユニットリーダー、サービス提供責任者等)としての実務経験を有することが望ましい。

<認定介護福祉士養成研修 II類の受講要件> I類を修了者のみ、II類を受講できる仕組みです。

- ① 認定介護福祉士養成研修 I類を修了(I類・II類の各科目は、内容によって段階的に修了する要件があります)。
- ② 介護職の小チーム(ユニット等、5~10名の介護職によるサービス提供チーム)のリーダー(ユニットリーダー、サービス提供責任者等)としての実務経験を有すること。
- ③ 居宅、居住(施設)系サービス双方での生活支援の経験をもつことが望ましい。